

平成30年度 国立教育政策研究所
教育課程研究指定校事業 研究協議会



錦町立錦中学校

熊本県球磨郡錦町

人口 10,671人

「剣豪とフルーツの里 錦町」



錦町PRキャラクター
錦太郎（きんたろう）



錦町

熊本県

錦中学校



錦町立錦中学校

- 生徒数 332名（13クラス 特別支援学級を含む）
- 職員数 37名（教育支援員4名を含む）
- 教育目標
「夢を持ち、自ら学び、礼節を重んじる生徒の育成」
- 重点努力項目
 - ・学力向上【夢と進路の実現】
 - ・あいさつ【コミュニケーション・好感】
 - ・無言清掃【気づき・思いやり】
 - ・時間厳守【信頼・自己管理】

< 研究課題 >

学習指導要領の趣旨を実現するための
学習・指導方法及び評価方法の
工夫改善に関する実践研究

②全国学力・学習状況調査等に係る課題

全国学力・学習状況調査の結果分析に基づいた、
指導方法等の工夫改善に関する研究

< 研究主題 >

思考力・判断力・表現力を育む

国語科の授業の創造

～一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた

学習指導の改善・充実～

【主題設定の理由】

全国学力・学習状況調査の結果を
ふまえた「付けたい力」

根拠をもって
考えをまとめる

語彙を豊かにする

情報の読み取り

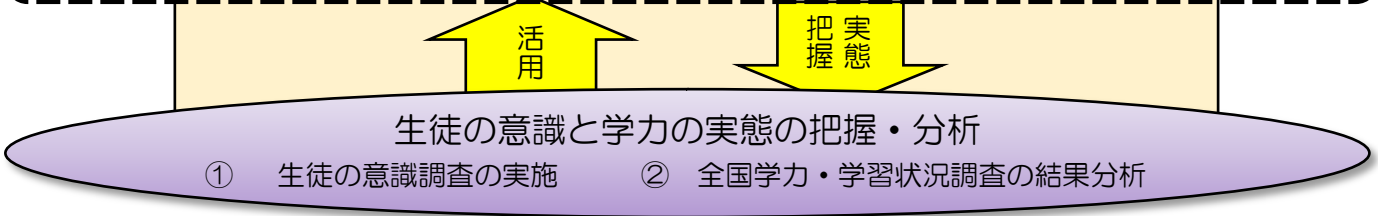
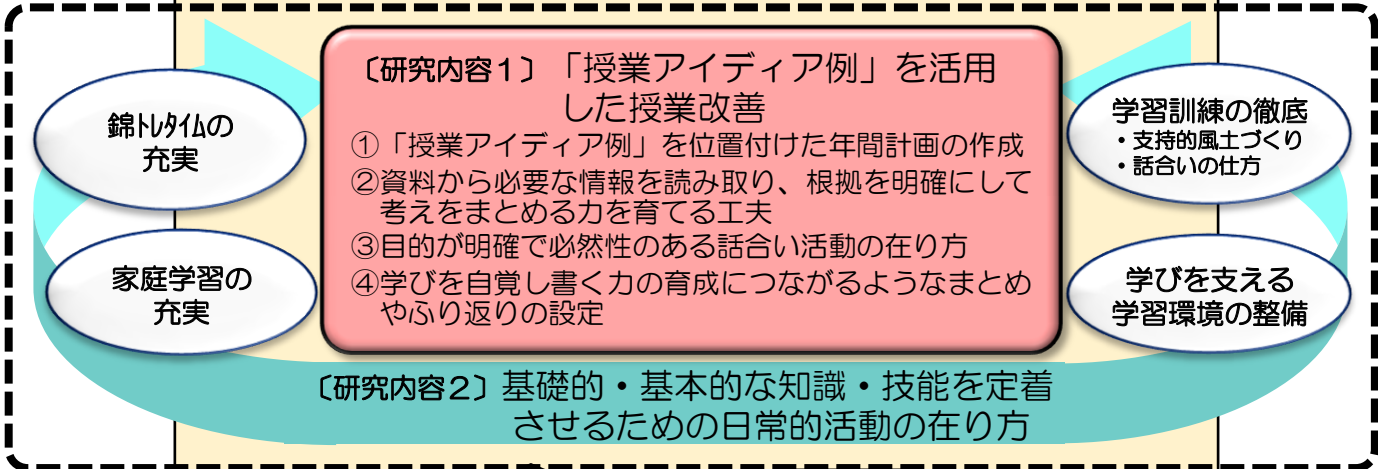
話合いの仕方



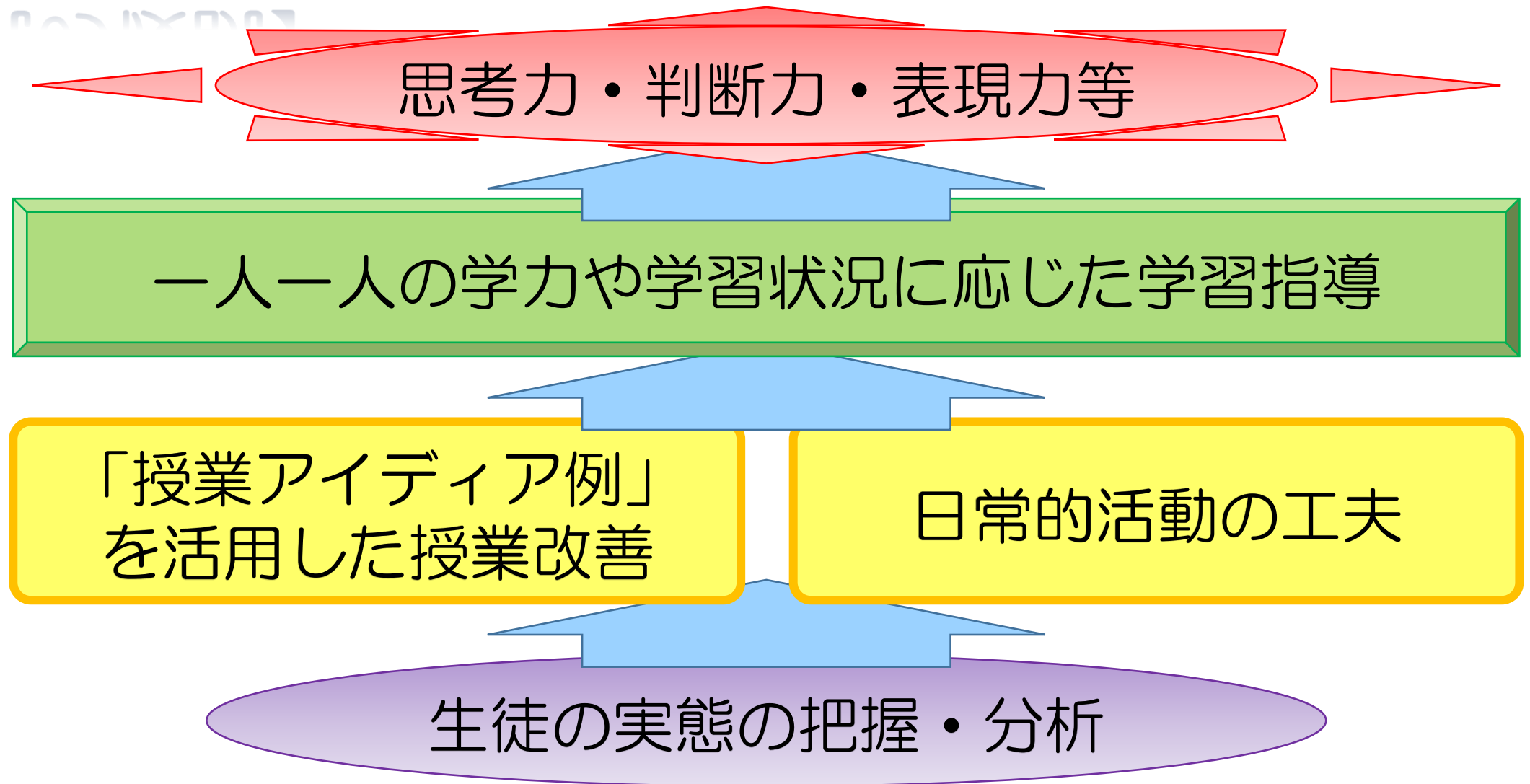
【学校教育目標】 夢をもち、自ら学び、礼節を重んじる生徒の育成

＜研究主題＞
思考力・判断力・表現力を育む国語科の授業の創造
～一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実～

【研究の仮説】
生徒の学習に対する意識や学力の実態を把握・分析し、「授業アイデア例」を活用した授業改善や、基礎的・基本的な知識・技能が定着するような日常的活動を工夫することで、一人一人の生徒の学力や学習状況に応じた学習指導につながり、思考力・判断力・表現力等を育むことができるであろう。



【研究の仮説】



【研究内容1】

「授業アイデア例」を活用した授業改善

- ① 「授業アイデア例」を位置付けた年間計画の作成とそれに沿った授業実践
- ② 学習課題・導入の工夫
- ③ 目的が明確で必然性のある話し合い活動の在り方
- ④ 学びを自覚し書く力の育成につながるようなまとめや振り返りの設定

【研究内容2】

基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための 日常的活動の在り方

- ① 錦トレタイムの充実
- ② 学習訓練の徹底
 - ・ 支持的風土づくり
 - ・ 話合いの仕方
- ③ 家庭学習の充実
- ④ 学びを支える学習環境の整備

【具体的な研究活動】

「授業アイデア例」を活用した授業改善

① 「授業アイデア例」を位置付けた年間計画の作成

指導事項配列表（2年）		月	4				5		6			
		単元	1 広がる学び				2 多様な					
		教材	見えないだけ	アイスプラネット	緑の葉を管理して開き取	季節のしおり	秋草子「書く」自分派「教草	多様な方法で情報を集めよう	オロギングの可能性	生物が記録する科学ーパイ	説明のしかたを工夫す	
領域	指導事項等	時数	1	5	1	-	3	11	6+5+1	4	1	
A 話すこと・聞くこと	(1) 指導事項	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。							○			
		イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。							○			
		ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。								○		
		エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。				○						
	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。											
	(2) 言語活動例	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それら聞いて意見を述べたりすること。								★		
		イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。										
	B 書くこと	(1) 指導事項	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。							○		
イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。									○		○	
ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。										○		○
エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。												
オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べた												

各学年学期に一つ
ねらいとの関連や学習過程
との組み合わせを考慮

- 学習活動の一つとして
- 特設単元として

【具体的な研究活動】

• 授業実践例

キーワードに着目

- サイドライン
- ワークシート



★ 根拠をもって
考えをまとめる

「授業アイデア例」を活用した授業改善



ここにこう書いて
あったから、
・・・と思うよ。

【具体的な研究活動】

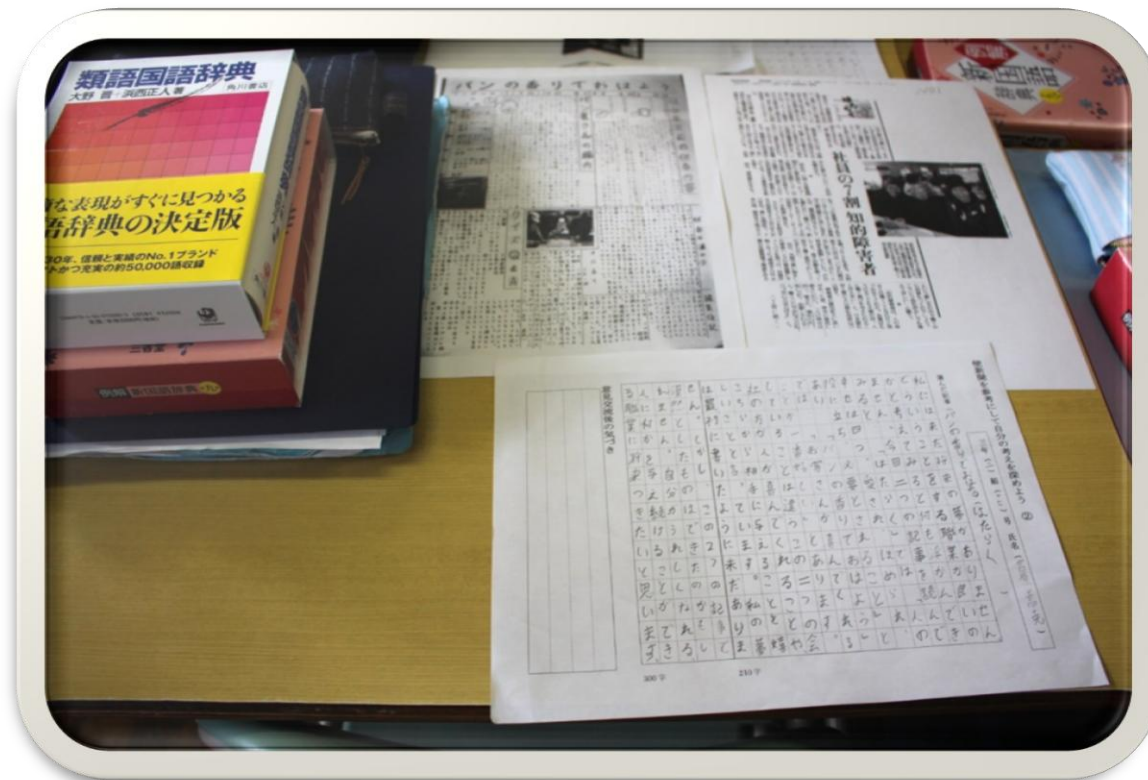
・ 授業実践例

複数の資料や
長文を教材に



- ★ 文章を丁寧に読む
- ★ 資料を関連づけて情報を捉える

「授業アイデア例」を活用した授業改善



市販の複数の新聞や友人が
作った新聞から読み取る

【具体的な研究活動】

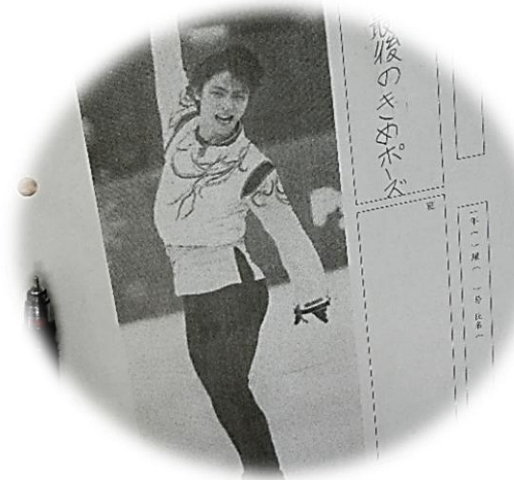
- 学習課題 • 導入の工夫

- 身近な題材
- 生活と結びついた学習活動

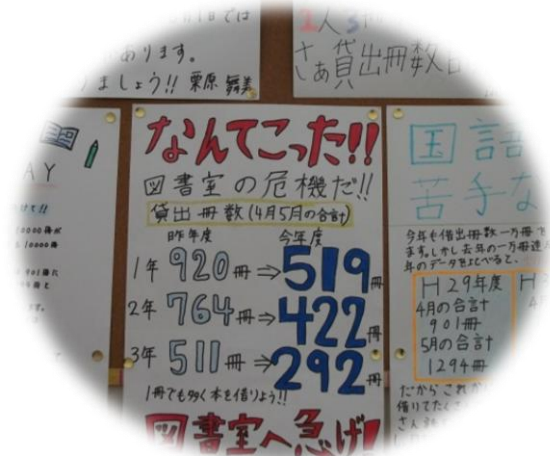


- ★ 生徒の興味 • 関心

「授業アイデア例」を活用した授業改善



オリンピックを題材に



読書啓発ちらし

地元紙の
記者を
GTに



【具体的な研究活動】

「授業アイデア例」を活用した授業改善

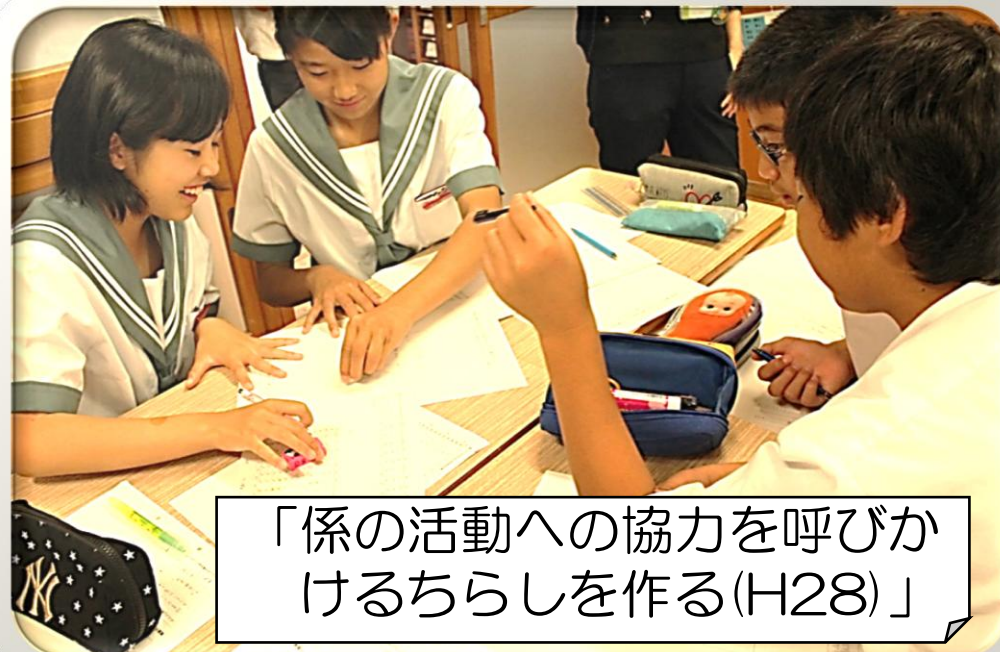
・話し合い活動

新聞の写真にふさわしい
キャプションを付ける



「写真にキャプション
を付けよう(H27)」

お互いの下書きをみんなで検討



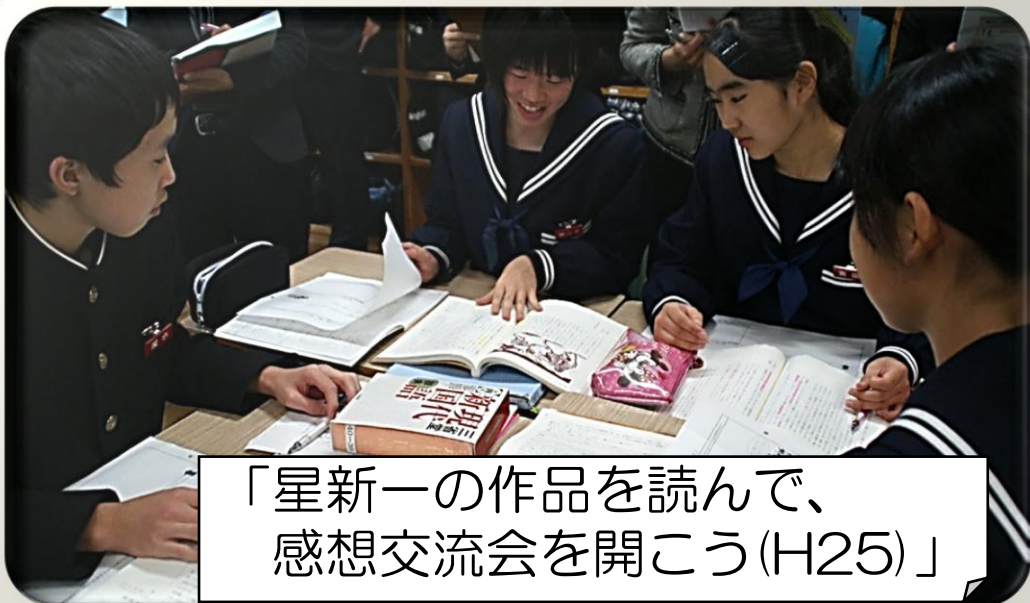
「係の活動への協力を呼びか
けるちらしを作る(H28)」

【具体的な研究活動】

「授業アイデア例」を活用した授業改善

• 話し合い活動

友人との交流を通して、ニュースに取り入れたい情報を明確に



「星新一の作品を読んで、感想交流会を開こう(H25)」

友人と交流することで、「働くこと」についての自分の考えを深める



「社会の中にある情報を自分と結び付けて考える(H27)」

【具体的な研究活動】

「授業アイデア例」を活用した授業改善

・まとめや振り返り

書くこと（文章）で学習したことをまとめる

- ・意見を交流した後の自分の考えを整理
- ・学習全体を振り返って

☆今日の授業で学んだこと（図表と文章について考えたこと・これからどのようにしていきたいか・感想など）を50字～100字で書こう。（5分）

図表は、	文章化する	ことができ、	比較、	分類	20
などが	ひと目で	分かるよう	にする	という役割	40
がある	ことを	学んだ。	これから	範囲や	60
シートを	参照する	ときは、	図表に	目を通して	80
から、	文章を	読んで	いこう	と思う。	100

おれよう!

皇	あ	人	・	銀	<	よ	<	か
子	る	の	他	・	ら	う	ら	ぐ
を	説	言	に	る	も	に	も	や
見	明	葉	も	り	ち	女	ち	姫
扱	だ	な	「	色	の	派	の	か
け	「	ど	こ	の	皇	に	皇	ウ
な	た		の	水	子	作	子	ソ
か	の	と	山	や	の	ら	か	を
「	で	て	の	色	う	れ	も	見
た		も	名	々	ソ	て		扱
の	か	<	を	の	の	い	て	け
で	ぐ	わ	何	五	説	た	き	な
す	や	し	と	の	明	か	た	か
	姫	<	か	橋	か	ら	五	
	は	て	申	具	で	の	た	
	<	す	照	体	す	枝	の	
	ら	説	し	り	的	・	か	は
	も	得	と	輝	で	次	本	
	ち	カ		<	金	に	物	ま
	の	の	天	木	・		の	す

○授業は真剣に取り組みましたか。 (5・4・3・2・1)

○内容はよくわかりましたか。 (5・4・3・2・1)

○次回への抱負

古典をもっと知りたいです。

【具体的な研究活動】

・ 錦トレタイムの充実

◇ 漢字の書き取り

間違った漢字は
チエックして、
覚えられるよう
に練習します。

基礎的・基本的な知識・技能を 定着させるための日常的活動の在り方

五十一	国連にカメイする。	加盟	七六	通説をヒテイした論文。	否定
五十	名画をモシヤする。	模写	七五	遺志をソynchヨウする。	尊重
四十九	英語をツウヤクする。	通訳	七四	タクチを造成する。	宅地
四十八	十年振りのドウソウ会。	同窓	七三	会計をタントウする。	担当
四十七	非常食をチョソウする。	貯蔵	七二	リーダーでタンチする。	卵白
四十六	生物のソンザイを認める。	存在	七一	ランバクを泡立てる。	探知
四十五	カイドンを駆け上がる。	階段	七〇	雑誌をカイランする。	回覧
四十四	カチのある発言。	価値	六九	ヒョウリ一体の関係。	表裏
四十三	ケンチヨウに勤める。	県庁	六八	人にチュウコクする。	忠告
四十二	人気ゼツチヨウの俳優。	優勝	六七	チョメイな作家。	著名
四十一	代金をユウソウする。	郵送	六六	世間のフウチヨウ。	風潮
四十	県大会でユウシヨウする。	幼虫	六五	高いチンギンをもらう。	借金
三十九	チョウのヨウチュウ。	徒党	六四	必要をツウカンする。	展覧台
三十八	トトウを組む。	届く	六三	山頂のテンボウダイ。	検討
三十七	手紙がトドク。	災難	六二	ケントウの余地がある。	法
三十六	とんだサイナンだった。	認識	六一	ホウリツを守る。	時
三十五	ニンシキ不足だった。	流派	六〇	リンジ収入を得る。	朗
三十四	物品をノウニユウする。	流入	五九	メイロウな人。	結
三十三	日本舞踊のリユウハ。	無欲	五八	ケツロンを先に述べる。	論
三十二	舞台のハイケイを描く。	混乱	五七	ハイユウを志す。	俳
三十一	ムヨクの勝利。	肺活量	五六	ミヨウバン出發する。	優
三十	ヨクジツ会うことにした。	班長	五五	作品をヒヒョウする。	有
二十九	話がコンランする。		五四	シンピ的な湖。	明
二十八	ハイカツリヨウを測る。		五三	税制のカイカク。	評
二十七	ハンチヨウを決める。		五二	フクツウで学校を休む。	秘
					革
					痛

【具体的な研究活動】

・ 錦トレタイムの充実

◇ 視写と辞書引き

**基礎的・基本的な知識・技能を
定着させるための日常的活動の在り方**

4 感慨

3 効用

2 定義

1 私人的

① 本文のライ
② 書き終わつ
③ 見直し、訂
④ 鉛筆を使用

「あなたにな
ち明けられな
お話しできそ
話のようだが、有名な
の最初のページはそんな言葉から始まっ
ている▼ナチスのユダヤ人
て、家族とともにオランダで隠れ家生活
に入った少女アンネ・フランクは、自分
自身に宛てた手紙というスタイルで日記
を書き始めた。だが後に公表を意識する
ようになる。そうして死後に刊行された
のが今に残るアンネの日記である▼日々
の出来事や感想を書き付けるもの。日
記に**定義**があるとすればそんなところだ
ろうが、その目的、**効用**は人によってさ
まざまに違くない。とりわけ公表を前提
としていない私人の場合は、日記にだけ
「本音」が漏れることも多いはずだ。だ
からこそ、本人の死後に目にした遺族ら
が感動したり、**感慨**を覚えたりする例
あるのではないか▼昭和天皇の侍衛

日記

① 新聞コラムの視写
② 意味が分からない言葉を
をチエック
③ 辞書で調べて記録

話	の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩
の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩	
話	の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩
の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩	
話	の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩
の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩	
話	の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩
の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩	
話	の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩
の	最	初	の	う	た	か	い	す	岩	

意味

権力のあるものが害を
すること。

① ものここの意味や内容を
言いあらわすとき。また、その
らわした文。

① 役に立つ、使道。
② ききめがあり、役に立つこと。

身にしておいて、深く心に感じる
個人としての立場に關係
ようす。

すぎたことにフッて思
と。また、その文。

【具体的な研究活動】

・ 錦トレタイムの充実

◇ 読書

基礎的・基本的な知識・技能を
定着させるための日常的活動の在り方



【具体的な研究活動】

基礎的・基本的な知識・技能を
定着させるための日常的活動の在り方

- 学習訓練の徹底
 - ◇ 話し合いの仕方

Nishiki jhs group Discussion Activity マニュアル

話し合いのモデルの作成
(NDAマニュアル)

話し合いの練習 → 自己評価

評価段階の修正

NDAマニュアル ~ Nishiki jhs group Discussion Activity マニュアル ~

<話し合いの進め方 / (例) 4人班の場合>

	第1段階:「守」	第2段階:「破」	第3段階:「難」
役目 確認	先生:(課題・話し合い内容) 話し合いの目標と役割の確認 司会:(課題:話し合い内容)の話し合いを始めます。今日の司会は〇〇、記録は△△さん、発表者は□□さんです。よろしくお願いします。それでは、(課題)について<Aさん>から時計回りの順番で意見を言ってください。		
意見の 表明	Aさん:私の考えは・・・です。 Bさん:まだ・・・で、後で言いたいです。 Cさん:僕は・・・と考えました。 司会:私の・・・です。意見を発表をもつ一度お願いします。 Bさん:はい。私は・・・と思います。 司会:何が質問がある人はいますか?	※「守」の段階に加えて、「相手を明確にしだす」「他者の意見を用いる」に留意する。 ※「守・破」で示す話し合いの進め方ができた上で、意見の表明→議論→提案→まとめの流れにとらわれることなく、主体的な話し合い活動を進めることができる。	
議論	Aさん:Cさんの・・・は、・・・だからです。 Cさん:「～」と考えたのは、「・・・」だからです。 Aさん:わかりました。 司会:他に質問はありませんか?	※「守」による議論に加えて、以下に示す【話し合いのキーワード】 理由や根拠・事実・体験・問題点・補足・まとめ・観点・立場・評価・共感・整理・仮説・確認 など	
提案 まとめ	司会:それでは、班の意見を確認します。〇班の意見は「～」です。これで、話し合いを終わります。ありがとうございました。 A・B・C:ありがとうございました。		
報告	発表者:〇班の話し合いの目標や「自分の班の意見の課題等」を報告することができます。 そのほか、話し合いの過程で「～」という意見がでました。これは、●班の～という意見に共通しています。(さらに、しかし、だから)・・・という結論になりました。		

【具体的な研究活動】

・ 学習訓練の徹底

◇ 話し合いの仕方

グループ活動自己評価シート<錦トレタイム用>
 (月 日) / (年) (組) (番 氏 名)

【現在の段階の自己評価】(自分は今の段階にいる?)
 今回のグループ活動に取り組み始める前の自分の態様を書きましょう。 1~3級~8人

【今日の話し合いのテーマ】

【朝の挨拶】

【今日のグループ活動での自分の反省/感想】

【今日の話し合い活動の自己評価】
 下の【自己評価のための段階】にある評価のポイントを読んで○×をつけ、
 右に自己評価結果を記入しなさい。 点

【朝中話し合い活動 (NDAマニュアル) 自己評価のための段階表】

段階	特徴	評価のポイント	ポイント	自己評価
1*	3級	・マニュアルに沿って、自分の考えを言うことができたか。	5ポイント	1点
2*	2級	・班員の意見をしっかりと聴くことができたか。 ・良い雰囲気のもとで話し合い活動することができたか。	5ポイント	2点
3*	1級	・班の結論をまとめる際に、一人の意見で決めるのではなく、 みんなで話し合ったことをふまえてまとめられるように意識することができたか。	5ポイント	3点
4*	初級	・<意見表明>の場面で、考えの根拠を明確にしたり、班員の意見を用いたりして、自分の意見を表明することができたか。	5ポイント	4点
5*	2級	・<議論>の場面で、【話し合いのキーワード】を用いて活発に自分の考えを主張することができたか。	5ポイント	5点
6*	3級	・<報告>の場面で、他の班の意見や自分の班の意見の課題等も含めて班の結論をまとめたりすることができたか。	5ポイント	6点

自己評価シート

基礎的・基本的な知識・技能を 定着させるための日常的活動の在り方

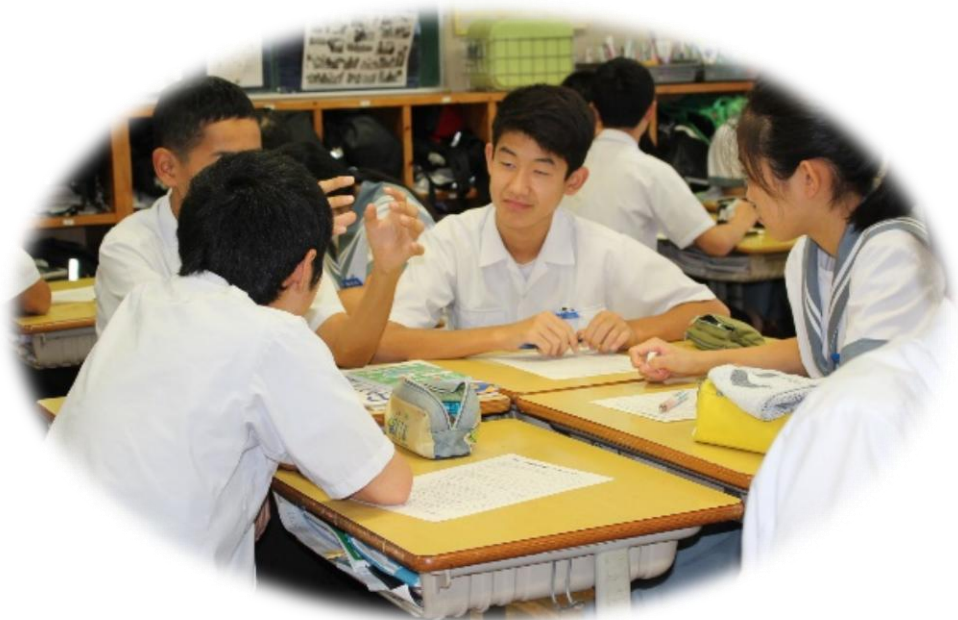
◎【話し合いのキーワード】(例)について

キーワード	説明/例文
質問	(例)「～について、もう少し詳しく教えてもらえますか。」
疑問	(例)「〇〇さんの・・・という考えに対して疑問があるのですが、・・・のような場合のときはどうするのですか。」など
意見	(例)「〇〇さんの考えに対する意見です。・・・については、私は・・・した方がいいと思います。理由は・・・だからです。」
反論	(例)「〇〇さんから・・・という意見が出されましたが、私はそうは思いません。なぜなら・・・だからです。」
比較	(例)「AとBを比較すると、・・・の方が良いと思います。理由は・・・だからです。」
共通点	(例)「AとBの意見では、・・・が共通しています。そこで、・・・という考えはどうでしょうか。」
相違点	●2つ以上の意見やデータを比較したときに、反対の考えや性質があることを指摘すること。 (例)「整理すると、AとBの意見では・・・という考え方で異なっています。」
理由や根拠	●なぜそう考えたかについての説明やそう考えるに至った原因を述べること。 (例)「そのように考えた理由(根拠)は・・・。なぜなら・・・。」
事実	(例)「最近の様子を見ると～ということが多いです。そこで、私は・・・と考えます。」
体験	(例)「以前～ということがありました。そこで、私は・・・と考えます。」
問題点	(例)「みんなの意見を聞いてみると、〇〇〇が問題点だと思います。そこで、私は・・・と考えます。」
補足	●意見や考えにつけ足して補うこと。 (例)「～の意見を補足すると・・・ということです。」
まとめ	●出されたバラバラな意見や考えを一つにそろえること。話し合いを完結すること。
観点	●観察や考察する立場や見方を意識すること。 (例)「話し合いの観点がバラバラなので、まず・・・から話し合おう。」
立場	●その人が置かれている状況や立場を明らかにすること。物の見方や考え方のより所をはっきりとさせること。 (例)「ここで、みんなの意見を確認します。AさんとBさんは【1案】で、Cさんは【2案】ですね。」
評価	(例)「Aさんの意見の〇〇というところがとても良いと思います。なぜなら～だからです。」
共感	(例)「なるほど～。」「Aさんの考え、とても良いね。だったら、・・・という考えはどうか？」
整理	●乱れた意見や考えを分類するなどして片付けて、整えること。(例)「一度意見を整理してみたいと思います。」
仮説	●自分や相手の考えや方法を用いた場合に考えらる (例)「Aさんの方法だと、もし・・・したら、・・・」
確認	●話し合いを進めるために、それぞれの意見をはっきり (例)「それぞれの考えや立場を確認したいと思

話し合いのキーワード

【具体的な研究活動】

- 学習訓練の徹底
 - ◇ 話合いの仕方



基礎的・基本的な知識・技能を
定着させるための日常的活動の在り方

錦中学校グループ活動
～たどれ名人までの道～

1年1組 私たちのクラスは、現在 1級 です	1年2組 私たちのクラスは、現在 2級 です	1年3組 私たちのクラスは、現在 1級 です	
2年1組 私たちのクラスは、現在 1級 です	2年2組 私たちのクラスは、現在 1級 です	2年3組 私たちのクラスは、現在 2級 です	2年4組 私たちのクラスは、現在 1級 です
3年1組 私たちのクラスは、現在 1級	3年2組 私たちのクラスは、現在 初段	3年3組 私たちのクラスは、現在 1級	

1年生
2年生
3年生

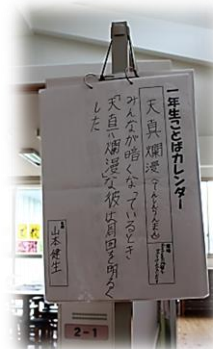
各学級の段階を一覧にして掲示

【具体的な研究活動】

基礎的・基本的な知識・技能を
定着させるための日常的活動の在り方

• 学びを支える学習環境の整備

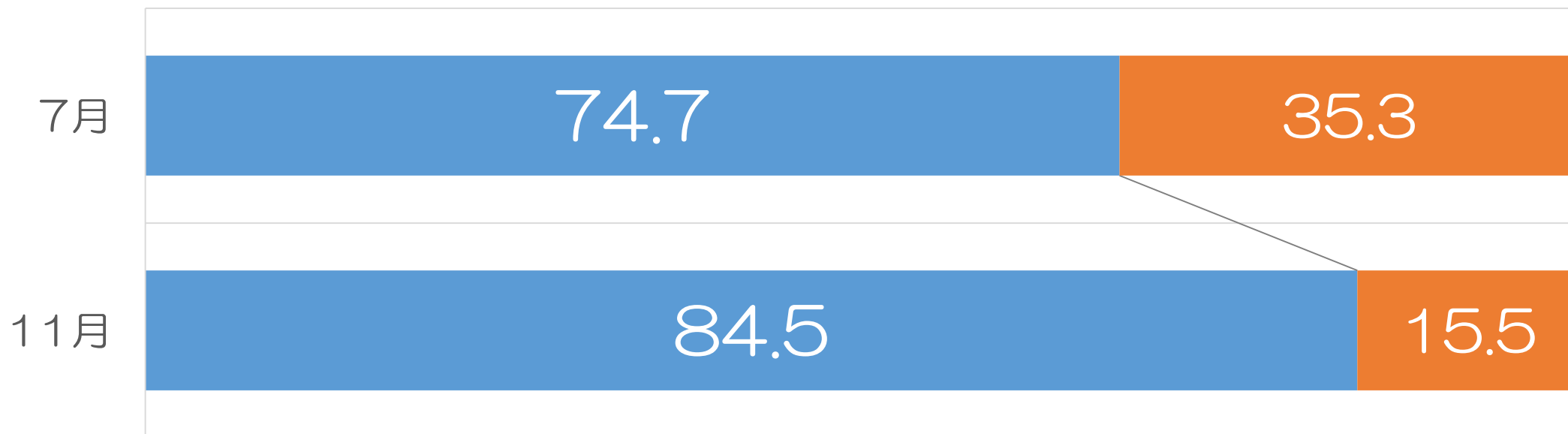
- ◇ 新聞
- ◇ 読んでほしい本
- ◇ 意識してほしい言葉



【研究の成果】

・意識調査の結果から

(1) 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。



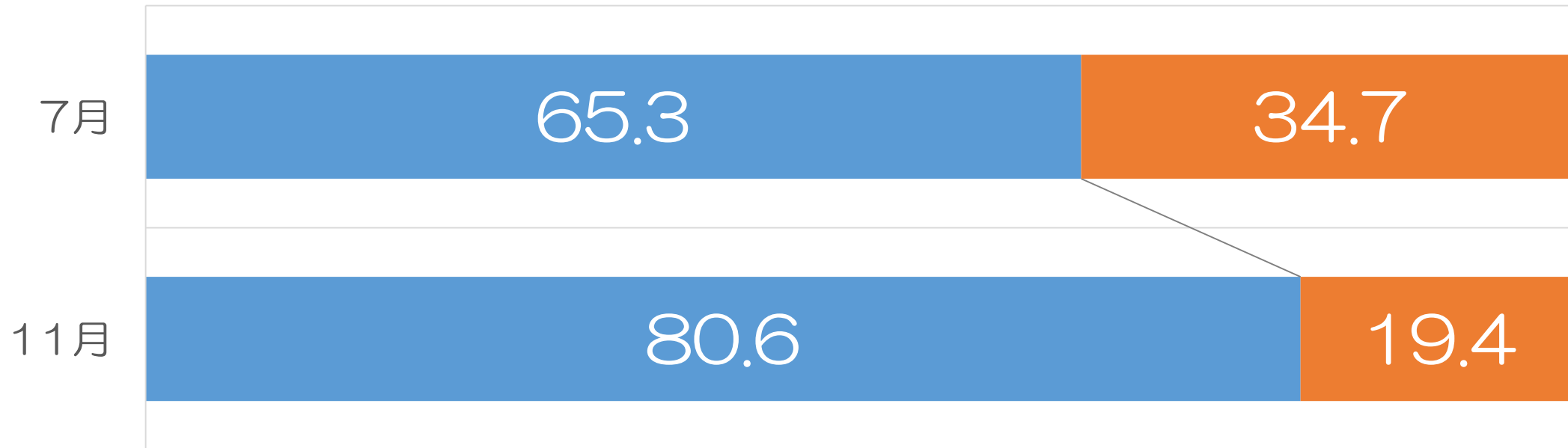
■ 当てはまる・どちらかという当てはまる

■ どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない

【研究の成果】

・意識調査の結果から

(2) 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。



- 当てはまる・どちらかという当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない

【研究の成果】

・ 類似問題の解答状況から

H27「授業アイディア例」より
「社会の中にある情報を
自分と結び付けて考える」

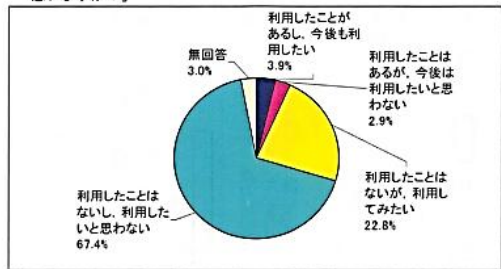
の実践

H27全国学力・学習状況調査で
課題が見られた問題 **B2三**

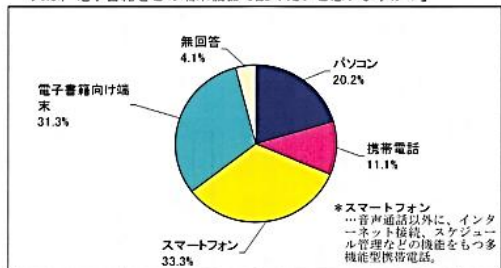
複数の資料から情報を得て、
自分の考えを具体的に書く。

「紙の本」の今後について、三つの資料から読み取ったことをもとに自分の考えを書く。

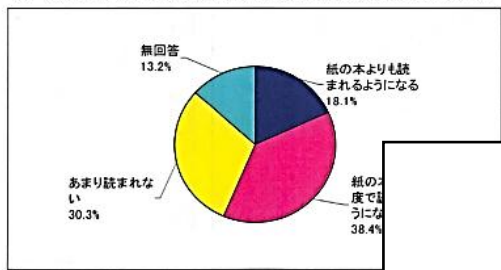
A 「電子書籍を利用したことがありますか、あるいは、利用したいと思いますか？」



B 「Aの質問に『今後も利用したい』、『利用してみたい』と答えた人は、電子書籍をどの端末機器で読みたいと思いますか？」



C 「今後、電子書籍がどの程度読まれるようになると思いますか？」



〔読書〕全国面接世論調査（二〇一一年十月一日～二日読売新聞実施）より

(2) 野原さんは、世の中の人々が「電子書籍」や「紙の本」について、どう考えているのか調べてみることにしました。この調査結果を見つめました。この調査結果を見て、あとの問いに答えなさい。

【小川さんの批評】
大幸治の「女生徒」の冒頭部分は、その結果、きりがいな感じがしたり、どんどん箱を開けていくように感じたりするのは、大幸治のこの理由があつたのではないかと思います。

(3) 「女生徒」の冒頭の場面を読み直していた小川さんは、二行目の「かくれんぼのとき、」から最後の行までで読者の特徴に気付きました。次の「小川さんの批評」は、「女生徒」の表現の仕方の特徴と、その表現がもたらす効果です。「女生徒」の文章と(2)の話し合いを読んで、③④⑤にふさわしい言葉を書き入れ、文章を完成させなさい。

小川さんが「②」って感じたのは興味深いね。どうして、そのように感じたのかな？
「箱をあけると、その中に、また小さい箱があつて」っていう表現が繰り返されているから、きりがなく、それが印象として「②」っていう言葉になつただけだ……
確かにそうだね。どんどん箱を開けていく感じがするね。勢いがあつて、テンポがいいから、何が入がどんどん増していく感じがする。
きりがいな感じがしたり、どんどん箱を開けていく感じがしたりするのは、何か表現の仕方に特徴があるのかな。
かくれんぼの様子も似たような印象を受けるね。読者がそんな感じをもつように、大幸治は何か仕掛けていたのかな。また読んでみようよ。

(1) 「小川さんのノート」の①には、「女生徒」の文章中の言葉が入ります。最も適切な言葉を、「女生徒」のききなさい。
(2) 気付いたことをまとめたあと、グループでその気付きを出し合い、話し合うことになりました。次の話し合い「小川さんのノート」の中の言葉が入ります。最も適切な言葉を書きなさい。

類似問題を実施

【研究の成果】

・ 類似問題の解答状況から

H27全国学力・学習状況調査で
課題が見られた問題 B2三

- ・ 複数の資料から情報を得て自分の考えを具体的に書く。
 - ①資料の内容を適切に取り上げて書いている。
 - ②自分の予想を具体的に書いている。
 - ③文字数や段落数などの条件に合うように書いている。

解答類型と反応率

	〔 全 国 〕	〔本校類似問題〕
① ①②③…	23.3%	38.2%
(2) ①②…	0.2%	8.8%
③ ①③…	44.7%	47.1%
(4) ②③…	2.3%	2.3%
(5) それ以外…	25.8%	5.9%
(6) 無解答…	3.6%	0%

※本校も同様の傾向 (H31.1実施)

【研究の成果】

「授業アイデア例」の活用

○付けたい力を意識した単元計画

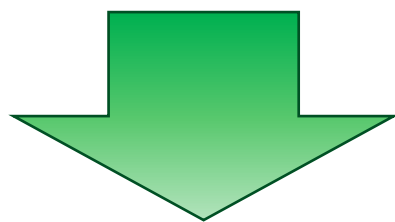
○生徒の関心・意欲を高める言語活動

○仲間との協働

授 業 改 善

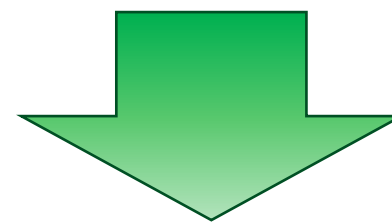
【研究の成果】

- 身近な資料
- 生活と結びついた学習活動



生徒の興味・関心

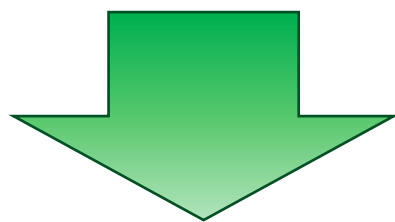
- 複数の図表・資料の活用



丁寧な読み取り
複数の資料の関連付け

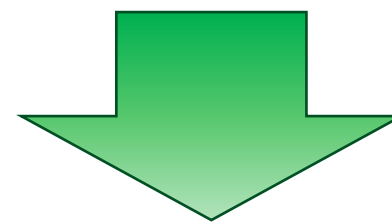
【研究の成果】

○話し合いの仕方の取組



話し合いの技能の向上
積極的な態度

○豊かな言語環境づくり

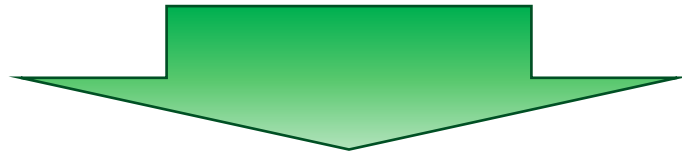


生徒の意識の向上

【研究の課題】

●生徒の学習状況に応じた年間計画の作成

●充実した話し合い活動



思考力・判断力・表現力を育む授業

【今後の取組】

さらに

一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた学習指導へ

- ①年間計画の見直しと活用
- ②話し合い活動の在り方を追求し主体的で対話的な学習へ
- ③自分の考えを書く力を高める取組
- ④語彙を豊かにするための取組の改善・継続
- ⑤教科の枠を超えた取組に





ご清聴ありがとうございました。